平成28年10月１日発行

椹梨公民館だより10月号

１０月・１１月の体験講座ご案内

古布あそび

チューリップ型バッグ

タンスに眠っている着物を利用して
普段使いにとても良い“バッグ”を作ります。

日　時　　１０月２５日（火）１３：３０~１５：３０
場　所　　椹梨公民館　集会室
講　師　　赤宗　明恵さん
定　員　　１６名
参加費　　１００円(材料が必要な方のみ別途500円)
持参物　　裁縫道具

カルトナージュ de ふくさ作り

ヨーロッパ伝統の手法で冠婚葬祭で使える和風のふくさを作ってみませんか♪

日　時　　１１月２２日（火）　１３：３０～１６：００
場　所　　椹梨公民館　研修室
講　師　　南　美栄子さん
定　員　　１０名
参加費　　６００円
持参物　　はさみ・定規・えんぴつ

お知らせ♪

体験講座「蹄鉄ペインティング」と「古布あそび」の作品を１０月１６日（日）のだいわ元気まつりで展示します。ぜひご覧ください。また蹄鉄ペインティングは，プチ体験も出来ますのでチャレンジしてみてください。

祝敬老 9/19

椹梨地域の敬老者・ご来賓　３００余名（出席者１５０名）の方をご招待して盛大に敬老会が行われました。
長年にわたり地域を支えてくださりありがとうございます。
いつまでもお元気で・・❤

椹梨自治振興会

ご近所さんよりいただいた FOTO

椹梨地域に自生する植物

カモメヅル

ミヤマウズラ

コウホネのなかま

ナンバンキセル

ふるさと椹梨の１ページ

「晨ガ鼻の糠粆ころがし」の不思議

椋梨上坂井家の裏に「晨山（じんやま）」という山があります。その山が南へ椋梨川まで突き出た辺りを「晨ガ鼻」と呼んでいます。

この山の頂上はほぼ平坦になっていて、そこには釈迦堂がありました。また、付近には観音堂や権現堂があったということです。これらの御堂は、昔この近くにあった久品寺（久遠寺）の脇堂であったといわれています。

昔は（今もそうしている人は多いのですが）死者への供養をとても大事に行っていました。特に、この地域では初七日、四十九日、一周忌、三年・・と、命日には遺族親族が集まり、団子や握り飯、その他の御馳走をたくさん作り、そろって晨山へ登り、釈迦堂にお参りしてねんごろに死者を弔うという習わしがあったということです。

そして、帰る途中この山の坂道に差しかかると、後を振り向かないようにして、持って行った団子や握り飯を谷合いにむけ投げたのだそうです。

「糠粆」とは、「ぬか味噌」あるいは「御馳走」といった意味があり、ここでは死者の供養に供える団子や握り飯、御馳走をそう言ったのだそうです。それで、「晨ガ鼻の糠粆ころがし」と言い伝えられているのです。今でも、真言宗の信者の多い地方ではこれに似た行事が行われているそうです。

お申込み・お問い合わせ　椹梨公民館
三原市大和町椋梨１００４
☎０８４７－３４－０２５２

生涯学習相談員
東山由紀・仁田人史枝